

リハビリテーション学科(理学療法学専攻) シラバスの変更一覧

学年	ページ	科目名
2年	10	暮らしの中の法律
2年	47	義肢装具学演習

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HSO-02				
	●			●						
科目名	暮らしの中の法律				単位認定者	鈴木 一樹		試験(レポート)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	P T	必修	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内課題等	20 %
	O T	必修	2年			授業時間数	20 時間		受講態度	10 %
				授業形態	講義	授業回数	10 回			
授業の概要	<p>法律問題の理解に必要な基本法である憲法、民法等の条文に触れ、法律の基礎知識を修得する。憲法では基本的人権や最近議論されている憲法改正等を、民法では日常生活で生じる契約や家族といった学生にとって身近な法律問題を、積極的に取り上げる。</p> <p>さらに、身近な法律問題について、具体的な事例を検討させ、事例から結論に至る論理を理解する。他者の意見を理解するとともに、自己の意見を持つ機会を与え、法的思考力を身につける。</p>									
到達目標	法律とは何か、何のために存在するか、そして日常生活でどう生かされているかを理解する。									
学修者への期待等	法律の考え方は非常に論理的で社会生活においても有用なので、法的な思考方法を修得できるよう一つひとつ確実に理解するよう努めること。									
回	授業計画				準備学修					
1	ガイダンス 法律入門									
2	憲法(1)	人権			前回の講義内容を復習し、疑問点を明らかにしておくこと(1時間程度)					
3	憲法(2)	統治			前回の講義内容を復習し、疑問点を明らかにしておくこと(1時間程度)					
4	憲法(3)	憲法総合			前回の講義内容を復習し、疑問点を明らかにしておくこと(1時間程度)					
5	民法(1)	総則			前回の講義内容を復習し、疑問点を明らかにしておくこと(1時間程度)					
6	民法(2)	物権			前回の講義内容を復習し、疑問点を明らかにしておくこと(1時間程度)					
7	民法(3)	債権(債権総論)			前回の講義内容を復習し、疑問点を明らかにしておくこと(1時間程度)					
8	民法(4)	債権(債権各論)			前回の講義内容を復習し、疑問点を明らかにしておくこと(1時間程度)					
9	民法(5)	親族相続			前回の講義内容を復習し、疑問点を明らかにしておくこと(1時間程度)					
10	まとめ(重要ポイントの振り返り)				前回の講義内容を復習し、疑問点を明らかにしておくこと(1時間程度)					
教科書	特に指定しない。									
参考文献	授業内で適宜紹介する。									
備考	講義は全て遠隔(オンデマンド)で実施する。授業内容は、進度に応じて変更する場合がある。課題については、講義内でフィードバックを行う。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	RP-2-FLP-12				
		●	●	●						
科目名	義肢装具学演習				単位 認定者	鈴木 裕治		授業内課題 (口頭試問)	50 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	P T	必修	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の 方法	授業内課題 (レポート)	50 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	
						授業回数	15 回			
授業の概要	義肢装具学演習では、義肢装具の適合判定及び装具療法、切断端管理法について実践的な知識を習得する。また、切断患者の断端管理や評価方法および理学療法の実際について理解する。									
到達目標	①装具の機能（目的）を理解し、チェックアウトができるようになる。 ②各疾患と機能構造障害との関連性をふまえて装具の選択と調整による変化が説明できる。 ③義足の機能（目的）を理解し、チェックアウトができるようになる。 ④義足・身体の問題と異常歩行との関連性が説明できる。 ⑤義肢・装具学における国家試験問題を解くことができる。									
学修者への 期待等	義肢装具学の授業内容を含め予習・復習を十分に行うこと。 解剖学、運動学、疾患の知識についても復習を十分に行うこと。									
回	授業計画				準備学修					
1	車椅子と歩行補助用具の演習				教科書の該当箇所（義肢装具の概念と分類、義肢学総論）を予習復習（概ね30分程度）					
2	装具の種類と名称（AL）				教科書の該当箇所を予習（15分）LMSに事前提示した資料を読み、わからない部分を調べておく（20分）					
3	下肢装具の演習Ⅰ：下肢装具の体験				教科書の該当箇所を予習（15分）LMSに事前提示した資料を読み、わからない部分を調べておく（20分）					
4	下肢装具の演習Ⅱ：下肢装具の歩行分析				歩行分析をレポートとしてまとめる（40分）					
5	下肢装具の演習Ⅲ：下肢装具のチェックアウト				下肢装具のチェックアウト・調整についてレポートとしてまとめる（40分）					
6	上肢装具のチェックアウトと症例検討（PBL）				①上肢装具の復習 ②上肢装具のチェックアウトをまとめる（40分）					
7	装具の適応のための評価（実技）				ランドマークの触診、形態測定の復習（40分）					
8	断端ケア演習				ソフトドレッシングの方法の確認（20分）					
9	義足の種類と名称（AL）				教科書の該当箇所を予習（15分）LMSに事前提示した資料を読み、わからない部分を調べておく（20分）					
10	義足の演習Ⅰ：義足の体験				教科書の該当箇所を予習（15分）LMSに事前提示した資料を読み、わからない部分を調べておく（20分）					
11	義足の演習Ⅱ：切断の評価				ランドマークの触診、形態測定の復習（40分）					
12	義足の演習Ⅲ：切断の理学療法				運動療法、動作練習の復習（30分）					
13	義足異常歩行の種類と原因（AL）				①義足の異常歩行のICT資料を確認する（30分） ②各異常歩行の原因をまとめる（30分）					
14	義足の調整と異常歩行の関係（PBL）				異常歩行と義足の調整についてPPにまとめる（40分）					
15	口頭試問				全体を通し復習しておくこと（60分）					
教科書	「PT・OTビジュアルテキスト 義肢・装具学 第2版」高田治実 監修、豊田輝 石垣栄司 編集、羊土社									
参考文献	「ケースで学ぶ理学療法臨床思考 第2版—基本編—実践編—」有馬慶美、松本直人 編、文光堂 「理学療法ALT 骨関節障害理学療法学」対馬栄輝、有馬慶美 編、文光堂 「筋骨格系のキネシオロジー 原著第3版」有馬慶美、日高正己 監訳									
備考	A B別2クラス 授業内課題：課題レポートを作成し期限までに提出すること。課題はその都度、提示予定。									

※以下は該当者のみ記載する。

**実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)**

当該科目担当教員は、臨床における装具、義足の理学療法に関わっている。また関連する研修会、学会に参加している。